

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月13日

【四半期会計期間】 第15期第2四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社 I B J

【英訳名】 IBJ, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 石坂 茂

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿一丁目23番7号

【電話番号】 080 - 7027 - 0983

【事務連絡者氏名】 財務経理統括 吉田 浩司

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿一丁目23番7号

【電話番号】 080 - 7027 - 0983

【事務連絡者氏名】 財務経理統括 吉田 浩司

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第14期 第2四半期 連結累計期間	第15期 第2四半期 連結累計期間	第14期
会計期間		自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2020年1月1日 至 2020年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高	(千円)	7,473,964	6,132,573	15,282,312
経常利益	(千円)	1,106,399	716,747	2,346,247
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	722,032	212,275	1,523,149
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	829,183	257,302	1,632,358
純資産額	(千円)	4,406,000	5,160,262	5,363,771
総資産額	(千円)	10,345,051	13,758,250	11,288,911
1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	18.33	5.30	38.49
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	18.14	-	-
自己資本比率	(%)	39.1	34.5	43.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	997,446	181,196	2,460,517
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,511,563	2,077,925	2,882,617
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	944,665	2,412,340	935,826
現金及び現金同等物の 四半期末残高	(千円)	4,302,223	5,009,547	4,385,400

回次		第14期 第2四半期 連結会計期間	第15期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	(円)	12.48	2.81

- (注) 1. 第15期第2四半期連結累計期間及び第14期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
2. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

< 婚活事業 >

当第2四半期連結会計期間において、株式を取得したことに伴い、株式会社ツヴァイを連結子会社にしております。

< ライフデザイン事業 >

第1四半期連結会計期間において、従来非連結子会社であった株式会社IBJライフデザインサポートは、重要性が増したため連結子会社にしております。

この結果、2020年6月30日現在では、当社グループは、当社、連結子会社9社、持分法適用関連会社1社、その他の関係会社2社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクは次のとおりであります。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

新型コロナウイルス感染症に関するリスクについて

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府からの緊急事態宣言に基づく外出自粛要請により、消費マインドが低下するとともに各種活動が抑制され、当社のサービスについても影響を受けました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の収束時期や今後の状況によっては、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

詳細につきましては、「第4 経理の状況 注記事項（追加情報）」をご参照ください。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦の長期化等、世界経済の悪化が我が国の景気を下押しするリスクは依然として含んでいたものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調でしたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、景気は大幅に下振れとなり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、当第2四半期連結会計期間より、新たに株式会社ツヴァイをグループ会社に迎え、会員基盤が拡大するとともに、従来直営店が無かった地域にも拠点が広がり、加盟相談所に対するサポート体制を強化することが可能となりました。これにより、グループ全体のシナジーを更に強化することが可能となり、更なる会員基盤の拡大と婚活会員数の増加に努めております。また、従来より非連結子会社であった、ソニー生命保険株式会社との合併会社である株式会社IBJライフデザインサポートを連結子会社とすることにより、ライフデザイン事業の拡充強化を図り、更なる売上獲得を目指しております。

一方、当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言に基づく外出自粛要請により、消費マインドが低下するとともに各種活動が抑制され、当社のサービスについても影響を受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,132,573千円(前年同期比17.9%減)、営業利益は764,144千円(同29.4%減)、経常利益は716,747千円(同35.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は212,275千円(同70.6%減)と前年同期に比べ減少しました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、各事業セグメントの業績をより適切に評価することを目的として、「のれん償却額」を各事業セグメントに含める方法に変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

詳細につきましては、「第4 経理の状況 1.四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

< 婚活事業 >

当セグメントは、営業本部、加盟店本部、FC事業、コミュニティ事業、イベント事業、ラウンジ事業より構成されております。

当第2四半期連結累計期間は、

- ・営業本部においては、ストック型の結婚相談所ビジネスへのニーズが高まったことから、加盟相談所数が増加しました。
- ・加盟店本部においては、加盟相談所網の拡大により、IBJシステムを利用する加盟相談所が引き続き増加するとともに、会員利用サービスのリニューアルの効果が徐々に表れ、利用単価が上昇しました。

- ・ ラウンジ事業においては、外出自粛要請等による活動抑制により、新規会員の入会が減少するとともに、既存の会員についても活動が抑制された一方、新たに株式会社ツヴァイグループ会社に加わることで、売上及び会員数が増加しました。
 - ・ イベント事業及び F C 事業においては、コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言に基づき、4月～5月中旬にかけてイベントの開催を自粛し、オンラインでのイベントを開催することにより、売上の維持に努めました。一方、6月以降についてはパーティ参加者が予想を上回りました。
- これらの理由により、セグメント売上高は4,924,853千円(前年同期比4.8%減)、セグメント利益は1,265,705千円(同17.8%減)となりました。

<ライフデザイン事業>

当セグメントは、ウェディング事業、旅行事業、外国語教室の運営事業、不動産・住宅ローン事業、保険事業により構成されております。

当第2四半期連結累計期間は、

- ・ 株式会社IBJライフデザインサポートが新たにライフデザイン事業に加わったことにより、ライフデザイン事業の売上の押し上げにつながった一方、
- ・ 旅行事業において、コロナウイルスの感染拡大により、3月に入り、外務省から全世界を対象とした危険情報「レベル2(不要不急の渡航は止めてください)」が発出されたことで、海外旅行がほぼ不可能となり、個人顧客、法人顧客問わずキャンセルとなりました。

この結果、セグメント売上高は1,207,719千円(前年同期比47.6%減)、セグメント損失は41,292千円(前年同期はセグメント利益40,472千円)となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,639,183千円となり、前連結会計年度末に比べ876,227千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が624,146千円、売掛金が194,534千円増加したことによるものであります。固定資産は7,119,066千円となり、前連結会計年度末に比べ1,593,111千円増加いたしました。これは主にのれんが1,464,737千円、差入保証金が274,307千円増加した一方、関係会社株式が152,817千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は13,758,250千円となり、前連結会計年度末に比べ2,469,339千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は6,669,313千円となり、前連結会計年度末に比べ2,703,115千円増加いたしました。これは主に、短期借入金3,104,000千円増加した一方、未払法人税等383,685千円減少したことによるものであります。固定負債は1,928,674千円となり、前連結会計年度末に比べ30,267千円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債72,241千円、資産除去債務が82,604千円増加した一方、長期借入金が185,680千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,597,988千円となり、前連結会計年度末に比べ2,672,848千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,160,262千円となり、前連結会計年度末に比べ203,508千円減少いたしました。これは主に配当金の支払360,256千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上212,275千円や、その他有価証券評価差額金の減少6,712千円、新株予約権の買戻しによる減少29,765千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は34.5%(前連結会計年度末は43.7%)となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて624,146千円増加し、5,009,547千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、181,196千円（前年同四半期に得られた資金は997,446千円）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益446,019千円、減価償却費112,541千円、のれん償却額127,061千円、売上債権の減少額110,980千円、法人税等の支払による支出548,891千円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により使用した資金は、2,077,925千円（前年同四半期に使用した資金は1,511,563千円）となりました。主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,943,090千円、投資有価証券の取得による支出102,590千円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により得られた資金は、2,412,340千円（前年同四半期に得られた資金は944,665千円）となりました。主な要因は、短期借入金の増減額3,104,000千円、長期借入金の返済による支出274,930千円、配当金の支払額360,256千円等であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間においては、当社グループが対処すべき課題は、新型コロナウイルスの感染拡大による、業績への影響があります。

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言に基づく外出自粛要請により、消費マインドが低下するとともに各種活動が抑制されました。緊急事態宣言は解除されましたが、長引く新型コロナウイルスの感染拡大により、自粛ムードの残存や雇用環境の悪化が続いております。

こういった状況の中、新型コロナウイルス感染症の世界的な収束時期は不確定であり予測が困難ですが、当社グループは2020年秋ごろから感染拡大が緩やかになり始め、2021年夏ごろに収束するシナリオを想定しております。

また、既存の事業については引き続きお客様のニーズがあることから、お客様と従業員の安全を第一に感染対策を徹底し、オフラインでのサービス提供を継続してまいります。

収束時期が見通せない現時点において、その影響を合理的に予測することは困難な状況にありますが、引き続き感染対策を徹底し、売上の維持に努めてまいります。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	139,320,000
計	139,320,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	42,000,000	42,000,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	42,000,000	42,000,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年6月30日	-	42,000,000	-	699,585	-	699,585

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	11,815,900	29.51
中本 哲宏	東京都中野区	3,632,800	9.07
株式会社TNnetwork	東京都中野区3丁目26-4	3,240,000	8.09
石坂 茂	東京都渋谷区	3,200,300	7.99
土谷 健次郎	東京都江戸川区	2,240,000	5.60
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY FOR STATE STREET BANK INTERNATIONAL CMBH, LUXEMBOURG BRANCH ON BEHALF OF ITS CLIENTS:CLIENT OMNI OM25 (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カस्टディ業務部)	P.O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	1,135,400	2.84
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	1,055,100	2.64
桑原 元就	東京都中野区	748,800	1.87
石坂 美江	東京都渋谷区	578,600	1.45
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	PETERBOROUGH COURT 133 FLEET STREET LONDON EC4A2BB UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	556,319	1.39
計	-	28,203,219	70.45

(注) 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次の通りであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,159,500株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	933,500株

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,971,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 40,023,800	400,238	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式。また、1単元の株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 4,700	-	-
発行済株式総数	42,000,000	-	-
総株主の議決権	-	400,238	-

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社 I B J	東京都新宿区西新宿1丁目23番7号	1,971,500	-	1,971,500	4.69
計	-	1,971,500	-	1,971,500	4.69

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あかり監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査法人は次のとおり交代しております。

第14期連結会計年度 東陽監査法人

第15期第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間 あかり監査法人

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,358,874	4,983,021
売掛金	1,080,167	1,274,702
商品及び製品	7,868	9,738
仕掛品	2,407	4,067
原材料及び貯蔵品	253	6,429
前渡金	84,398	7,987
前払費用	164,224	236,992
未収還付法人税等	10,913	-
1年内回収予定の長期貸付金	2,400	2,400
その他	52,837	115,863
貸倒引当金	1,390	2,018
流動資産合計	5,762,956	6,639,183
固定資産		
有形固定資産		
建物	660,487	940,461
減価償却累計額	255,190	559,737
建物(純額)	405,296	380,723
車両運搬具	19,848	19,848
減価償却累計額	10,321	11,907
車両運搬具(純額)	9,526	7,940
工具、器具及び備品	390,364	777,647
減価償却累計額	294,452	691,614
工具、器具及び備品(純額)	95,912	86,032
リース資産	13,605	67,245
減価償却累計額	1,593	56,263
リース資産(純額)	12,011	10,982
有形固定資産合計	522,747	485,678
無形固定資産		
のれん	797,121	2,261,859
ソフトウェア	271,657	275,313
ソフトウェア仮勘定	14,344	13,056
その他	2,461	2,461
無形固定資産合計	1,085,585	2,552,691
投資その他の資産		
投資有価証券	1,394,382	1,385,220
関係会社株式	251,087	98,270
長期貸付金	1,108,017	1,052,217
長期前払費用	5,809	3,739
保険積立金	209,454	329,124
繰延税金資産	180,104	169,053
差入保証金	765,265	1,039,572
その他	3,500	3,500
投資その他の資産合計	3,917,621	4,080,696
固定資産合計	5,525,954	7,119,066
資産合計	11,288,911	13,758,250

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,938	115,409
短期借入金	425,000	3,529,000
1年内返済予定の長期借入金	532,360	548,110
未払金	379,079	651,575
未払費用	531,841	448,148
未払法人税等	560,717	177,032
未払消費税等	211,770	174,678
前受金	1,069,363	868,327
リース債務	3,054	8,371
賞与引当金	32,974	30,955
返品調整引当金	13,866	969
ポイント引当金	25,535	21,922
店舗閉鎖損失引当金	-	29,441
その他	34,695	65,371
流動負債合計	3,966,197	6,669,313
固定負債		
長期借入金	1,769,860	1,584,180
リース債務	9,818	10,385
退職給付に係る負債	-	72,241
資産除去債務	179,263	261,867
固定負債合計	1,958,942	1,928,674
負債合計	5,925,140	8,597,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,585	699,585
資本剰余金	776,984	776,984
利益剰余金	4,367,675	4,186,670
自己株式	1,007,719	1,007,719
株主資本合計	4,836,526	4,655,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,081	92,369
その他の包括利益累計額合計	99,081	92,369
新株予約権	30,399	634
非支配株主持分	397,762	411,736
純資産合計	5,363,771	5,160,262
負債純資産合計	11,288,911	13,758,250

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	7,473,964	6,132,573
売上原価	1,953,932	815,714
売上総利益	5,520,031	5,316,858
返品調整引当金繰入額	8,544	-
返品調整引当金戻入額	-	321
差引売上総利益	5,511,486	5,317,179
販売費及び一般管理費	4,428,972	4,553,035
営業利益	1,082,513	764,144
営業外収益		
受取利息	177	222
受取配当金	130	135
還付消費税等	-	3,109
為替差益	123	-
投資事業組合運用益	26,311	64
その他	2,943	1,557
営業外収益合計	29,686	5,089
営業外費用		
支払利息	4,916	4,524
持分法による投資損失	-	47,817
その他	883	144
営業外費用合計	5,800	52,486
経常利益	1,106,399	716,747
特別利益		
事業譲渡益	4,629	-
受取補償金	-	6,390
特別利益合計	4,629	6,390
特別損失		
固定資産除却損	2,571	6,819
投資有価証券評価損	-	99,999
関係会社株式評価損	1,454	-
減損損失	-	23,697
店舗閉鎖損失	-	34,816
新型コロナウイルス感染症による損失	-	110,792
その他	252	991
特別損失合計	4,279	277,118
税金等調整前四半期純利益	1,106,749	446,019
法人税、住民税及び事業税	373,915	166,011
法人税等調整額	20,216	15,993
法人税等合計	353,698	182,004
四半期純利益	753,050	264,014
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,017	51,739
親会社株主に帰属する四半期純利益	722,032	212,275

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	753,050	264,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,132	6,712
その他の包括利益合計	76,132	6,712
四半期包括利益	829,183	257,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	798,165	205,563
非支配株主に係る四半期包括利益	31,017	51,739

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,106,749	446,019
減価償却費	112,320	112,541
減損損失	-	23,697
のれん償却額	110,763	127,061
長期前払費用償却額	1,373	1,404
貸倒引当金の増減額(は減少)	970	732
賞与引当金の増減額(は減少)	47,607	36,376
返品調整引当金の増減額(は減少)	3,208	12,897
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	-	29,441
ポイント引当金の増減額(は減少)	363	3,612
受取利息及び受取配当金	307	357
支払利息	4,916	4,524
持分法による投資損益(は益)	-	47,817
投資有価証券評価損益(は益)	-	99,999
関係会社株式評価損	1,454	-
固定資産除却損	2,571	6,819
投資事業組合運用損益(は益)	26,311	64
事業譲渡損益(は益)	4,629	-
売上債権の増減額(は増加)	166,945	110,980
前渡金の増減額(は増加)	41,229	76,411
預け金の増減額(は増加)	3,561	598
たな卸資産の増減額(は増加)	3,145	4,562
仕入債務の増減額(は減少)	42,544	105,705
前受金の増減額(は減少)	114,097	218,965
未払金及び未払費用の増減額(は減少)	14,926	39,721
その他	46,755	5,950
小計	1,241,191	736,748
利息及び配当金の受取額	155	705
利息の支払額	3,544	7,365
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	240,355	548,891
営業活動によるキャッシュ・フロー	997,446	181,196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	15,450	16,009
無形固定資産の取得による支出	30,280	64,884
投資有価証券の取得による支出	117,999	102,590
投資有価証券の売却による収入	29,992	-
貸付けによる支出	1,105,900	-
貸付金の回収による収入	1,200	55,800
敷金及び保証金の差入による支出	90,786	10,175
敷金及び保証金の回収による収入	1,619	11,172
子会社株式の売却による収入	105,982	-
事業譲渡による収入	5,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	382,908	1,943,090
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	87,924	-
その他	43	8,143
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,511,563	2,077,925

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	21,812	-
短期借入金の増減額（は減少）	105,000	3,104,000
長期借入れによる収入	1,400,000	105,000
長期借入金の返済による支出	229,180	274,930
配当金の支払額	352,500	360,256
非支配株主への配当金の支払額	-	128,465
その他	466	33,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	944,665	2,412,340
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	430,549	515,611
現金及び現金同等物の期首残高	3,859,434	4,385,400
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	12,239	108,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,302,223	5,009,547

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、従来非連結子会社であった株式会社IBJライフデザインサポートは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、当第2四半期連結会計期間より、株式を取得したことにより、株式会社ツヴァイを連結の範囲に含めております。株式会社ツヴァイの決算日は2月28日のため、四半期連結財務諸表の作成に当たって、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の経済への影響が継続しており、当社グループの事業活動にも大きな影響を及ぼしております。当社グループは、連結財務諸表の作成にあたって様々な会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を会計上の見積りに反映するにあたり、主として次のような仮定を置いております。

なお、以下の記載は現在の状況及び入手可能な情報に基づき、合理的と考えられる見積り及び判断を行っておりますが、不確実性の極めて高い環境下であり、新型コロナウイルス感染症の拡大や収束時期等の見積りには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。

新型コロナウイルス感染症の影響について、世界的な外出自粛の長期化や消費者の消費心理の低下など、感染症が収束し経済活動が回復するまでの間、売上高は減少する可能性があります。

新型コロナウイルス感染症の世界的な収束時期は不確実であり予測が困難ですが、当社グループは2020年秋ごろから感染拡大が緩やかになり始め、2021年夏ごろに収束するシナリオを想定し、固定資産の減損の検討や繰延税金資産の回収可能性の判断などの会計上の見積りを行っております。

当社グループは感染症の収束後においては、オフラインでのお客様の活動が活発になり、新型コロナ禍の経験を踏まえて改善した良質なオンラインサービスも併せて稼働していくことで、同感染症の拡大以前と概ね同水準に回復する可能性が高いと見込んでおります。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社及び一部の連結子会社(株式会社Diverse、株式会社サンマリエ、株式会社K Village Tokyo、株式会社ツヴァイ)においては、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行6行(前連結会計年度は4行)と当座貸越契約等を締結しております。これらの契約に基づく当第2四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
当座貸越限度額	765,000千円	6,380,000千円
借入実行残高	425,000	3,529,000
差引額	340,000	2,851,000

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
役員報酬	123,000千円	160,143千円
給与手当	1,200,073	1,253,842
退職給付費用	9,482	12,501
賞与引当金繰入額	48,112	35,151
広告宣伝費	667,448	640,967
のれん償却額	110,763	127,061

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 1月 1日 至 2019年 6月 30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月 30日)
現金及び預金勘定	4,275,697千円	4,983,021千円
預け金(流動資産のその他)	26,525	26,525
現金及び現金同等物	4,302,223	5,009,547

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月25日 定時株主総会	普通株式	354,292	9.00	2018年12月31日	2019年3月26日	利益剰余金

2. 基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月23日 定時株主総会	普通株式	360,256	9.00	2019年12月31日	2020年3月24日	利益剰余金

2. 基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	婚活事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,170,526	2,303,437	7,473,964	-	7,473,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	240	-	240	240	-
計	5,170,766	2,303,437	7,474,204	240	7,473,964
セグメント利益	1,540,080	40,472	1,580,552	498,038	1,082,513

- (注) 1. セグメント利益の調整額 498,038千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用 498,038千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

婚活事業において、株式会社サンマリエの株式の取得に伴い、前第2四半期連結累計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、前第2四半期連結累計期間においては426,306千円です。

また、ライフデザイン事業において、株式会社K Village Tokyoの株式の取得に伴い、前第2四半期連結累計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、前第2四半期連結累計期間においては211,022千円です。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	婚活事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,924,853	1,207,719	6,132,573	-	6,132,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	3,600	3,600	3,600	-
計	4,924,853	1,211,319	6,136,173	3,600	6,132,573
セグメント利益又は損失()	1,265,705	41,292	1,224,413	460,269	764,144

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 460,269千円には、セグメント間取引消去149千円、各報告セグメントに配分していない全社費用460,120千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、各事業セグメントの業績をより適切に評価することを目的として、「のれん償却額」を各事業セグメントに含める方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

婚活事業において20,077千円、ライフデザイン事業において3,620千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

婚活事業において、株式会社ツヴァイの株式の取得に伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間においては1,591,799千円です。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(企業結合等関係)

(株式会社ツヴァイに対する公開買付けによる子会社化)

当社は、2020年3月11日開催の取締役会において、株式会社ツヴァイを当社の連結子会社とすべく、普通株式を公開買付けにより取得することを決議し、2020年4月30日に株式を取得しました。その結果、株式会社ツヴァイは当社の連結子会社となりました。

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ツヴァイ

事業の内容 結婚相手紹介サービス

企業結合を行った主な理由

婚活事業の規模の拡大と拠点の拡大によるサポート体制の効率化を図り、婚活事業の競争力を高めるため。

企業結合日

2020年5月1日

企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

結合後企業の名称

変更ありません。

取得した議決権比率

合併直前に所有していた議決権比率 0.00%

企業結合日に取得した議決権比率 90.55%

2020年6月末時点の議決権比率 100.00%

取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したことによるものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2020年5月1日から2020年6月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 3,507,084千円

取得原価 3,507,084千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 48,600千円(概算)

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん

1,591,799千円

なお、上記の金額は暫定的に算定された金額です。

発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

償却方法及び償却期間

15年間にわたる均等償却

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(1) 1株当たり四半期純利益金額	18円33銭	5円30銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	722,032	212,275
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	722,032	212,275
普通株式の期中平均株式数(株)	39,395,080	40,028,448
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	18円14銭	-
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	87,600	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 当第2四半期連結累計期間においては、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年 8月12日

株式会社 I B J
取締役会 御中

あかり監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 狐塚 利光

指定社員
業務執行社員 公認会計士 林 成治

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社 I B J の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社 I B J 及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の2019年12月31日をもって終了した前連結会計年度の第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して2019年8月9日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して2020年3月23日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。